



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日
東

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇根 高司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮下 泰知 (TEL) 06-6209-8500
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,226	△7.8	874	△18.5	972	△20.9	501	△35.5
2019年3月期第1四半期	19,758	△0.4	1,073	△34.1	1,230	△28.1	776	△30.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 247百万円(△38.5%) 2019年3月期第1四半期 403百万円(△71.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	24.28	—
2019年3月期第1四半期	37.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	89,300	56,082	60.9
2019年3月期	92,174	56,326	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 54,406百万円 2019年3月期 54,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	40,500	2.5	1,800	△5.1	2,000	△9.8	1,250	△12.3
通期	82,000	3.1	4,300	20.6	4,600	16.4	3,000	△22.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	20,652,400株	2019年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	42,151株	2019年3月期	13,251株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	20,631,924株	2019年3月期1Q	20,639,150株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、アジアおよび欧州の中では弱さが見られるものの、全体としては緩やかに回復しました。一方、国内経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用環境の改善などもあり、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中貿易摩擦をはじめとする通商問題が世界経済に深刻な影響を与えております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（「事業の新陳代謝」や「真のグローバル化」など）に沿った重点施策を進め、事業の拡大や収益性の向上、事業開発の促進に注力してまいりました。業績面では、米中貿易摩擦による中国経済の減速、スマートフォンや電子部品を中心とする需要環境の変化に加え、諸コストの増加が収益に大きく影響しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は182億26百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は8億74百万円（同18.5%減）、経常利益は9億72百万円（同20.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億1百万円（同35.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

製紙業界は、eコマース市場（電子商取引）の世界的な成長に伴い、段ボール原紙など板紙の需要が堅調に推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、板紙向け紙力増強剤の販売が堅調に推移しましたが、塗工紙用薬品は減少しました。利益面では、国内において諸コストの上昇もあり減益となりましたが、海外での収益性の改善により増益となりました。

その結果、売上高は48億42百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益は1億34百万円（同72.0%増）となりました。

<コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、車載向け電子部品が堅調である一方、スマートフォン向けが低調でした。また、印刷インキ業界では出版・広告分野で市場の縮小が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、機能性コーティング材料用の光硬化型および熱硬化型樹脂の収益への寄与がありました。一方、国内の印刷インキ用樹脂は販売が大幅に減少しました。

その結果、売上高は40億89百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は3億24百万円（同45.6%増）となりました。

<粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要増加が継続しており、粘着性付与剤の供給能力も増強されています。このような環境のもと、当事業におきましては、水素化石油樹脂は、生産拠点を置くドイツのコンビナートが再度停止したことに伴う原材料コスト上昇などによる収益性の低下がありました。また、中国では、ロジン系の粘着・接着剤用樹脂の販売が大幅に減少しました。

その結果、売上高は65億92百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は3億62百万円（同23.4%減）となりました。

<機能性材料事業>

電子工業業界は、スマートフォン市場の減速に加え、米中貿易摩擦の影響などにより電子部品の需要が低下しました。このような環境のもと、当事業におきましては、スマートフォン関連や、精密部品洗浄剤、精密研磨剤および電子材料用配合製品の販売が減少しました。

その結果、売上高は26億22百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント利益は1億5百万円（同62.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億74百万円減少し、893億円となりました。主な要因は、現金及び預金が3億10百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が19億38百万円、たな卸資産が6億19百万円、投資有価証券が5億53百万円減少したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が20億26百万円、賞与引当金が6億1百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26億30百万円減少し、332億17百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少し、560億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,061	9,371
受取手形及び売掛金	27,069	25,130
電子記録債権	1,969	1,788
商品及び製品	9,508	9,495
仕掛品	1,006	1,147
原材料及び貯蔵品	7,311	6,564
その他	1,143	1,258
貸倒引当金	△114	△113
流動資産合計	56,956	54,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,684	7,837
機械装置及び運搬具（純額）	5,956	5,658
土地	5,140	5,142
建設仮勘定	5,937	6,103
その他（純額）	549	540
有形固定資産合計	25,268	25,282
無形固定資産		
のれん	543	473
その他	398	411
無形固定資産合計	941	884
投資その他の資産		
投資有価証券	7,261	6,707
退職給付に係る資産	1,105	1,151
繰延税金資産	305	269
その他	386	379
貸倒引当金	△66	△67
投資その他の資産合計	8,991	8,440
固定資産合計	35,201	34,608
繰延資産		
開業費	17	49
繰延資産合計	17	49
資産合計	92,174	89,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,178	10,152
短期借入金	5,454	5,815
未払法人税等	752	309
未払消費税等	142	157
賞与引当金	1,222	621
役員賞与引当金	60	12
修繕引当金	105	124
設備関係支払手形	111	108
その他	4,825	4,941
流動負債合計	24,853	22,241
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	3,895	3,880
繰延税金負債	1,186	1,154
退職給付に係る負債	305	314
資産除去債務	330	327
その他	276	300
固定負債合計	10,994	10,975
負債合計	35,848	33,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	44,153	44,200
自己株式	△13	△51
株主資本合計	51,047	51,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,796	2,410
為替換算調整勘定	727	773
退職給付に係る調整累計額	175	166
その他の包括利益累計額合計	3,699	3,350
非支配株主持分	1,579	1,675
純資産合計	56,326	56,082
負債純資産合計	92,174	89,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,758	18,226
売上原価	15,287	14,011
売上総利益	4,470	4,214
販売費及び一般管理費	3,397	3,340
営業利益	1,073	874
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	60	64
不動産賃貸料	28	24
為替差益	67	—
その他	48	95
営業外収益合計	206	187
営業外費用		
支払利息	39	46
為替差損	—	26
その他	9	17
営業外費用合計	49	89
経常利益	1,230	972
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	7	8
受取保険金	0	—
特別利益合計	8	8
特別損失		
固定資産除売却損	4	6
操業休止関連費用	—	63
特別損失合計	4	70
税金等調整前四半期純利益	1,234	910
法人税、住民税及び事業税	144	124
法人税等調整額	232	185
法人税等合計	377	309
四半期純利益	856	600
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	776	501

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	856	600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△386
為替換算調整勘定	△411	42
退職給付に係る調整額	△22	△8
その他の包括利益合計	△453	△353
四半期包括利益	403	247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388	151
非支配株主に係る四半期包括利益	14	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の海外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められる本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,952	4,447	7,210	3,080	19,691	66	19,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	12	12
計	4,952	4,447	7,210	3,080	19,691	79	19,770
セグメント利益	77	222	473	283	1,057	6	1,064

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,057
「その他」の区分の利益	6
全社費用の配賦差額(注)1	155
コーポレート研究開発費用(注)2	△83
営業外損益(注)3	△63
四半期連結損益計算書の営業利益	1,073

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,842	4,089	6,592	2,622	18,146	79	18,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	8	8
計	4,842	4,089	6,592	2,622	18,146	88	18,235
セグメント利益	134	324	362	105	926	9	935

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	926
「その他」の区分の利益	9
全社費用の配賦差額(注) 1	158
コーポレート研究開発費用(注) 2	△70
営業外損益(注) 3	△148
四半期連結損益計算書の営業利益	874

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。